訪問リハビリテーション運営規程

医療法人財団 聖十字会

聖ヶ塔病院 指定訪問リハビリテーション事業所

(事業の目的)

第1条 医療法人財団聖十字会が開設する聖ヶ塔病院が行う指定訪問リハビリテーション事業所(以下「事業所」という)の適正な運営を確保する為に、人員及び管理運営に関する事項を定めます。

要介護状態または要支援状態にある人等(以下「利用者」)に対し、利用者の心身の特性を踏まえ、生活の質の確保及び向上を図るとともに、安心して日常生活を過ごすことが出来るよう、適正な訪問リハビリテーションを提供することを目的とします。

(運営の方針)

第2条 事業所の理学療法士、作業療法士は、利用者の心身の特性を踏まえ、居宅においてその有する潜在能力を最大限に発揮し、日常生活の活動を高めることで、家庭や社会への参加を可能にし、自立生活の支援を通じて生活機能の改善、悪化の防止や尊厳ある自己実現を図ります。

訪問リハビリテーションの実施にあたっては、居宅介護支援事業者、その他保健医療サービスを提供する者との密接な連携に努めるとともに、関係市町村とも連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

(事業所の名称及び所在地)

第3条 名称及び所在地は次の通りとします。

- (1)名称 医療法人財団 聖十字会 聖ヶ塔病院
- (2)所在地 熊本市西区河内町船津897

(従事者の職種、員数、及び職務内容)

第4条 従業者の職種、員数、及び職務内容は次の通りです。

- (1)管理者 医師 1名(常勤)

病院及び指定訪問リハビリテーション事業所に携わる従業者の総括管理、指導を行います。またリハビリテーションの提供を行うにあたり診療を行い、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士に指示をすること及び利用者の健康管理及び保健衛生の指導を行います。

- (2)訪問リハビリテーション職員(病院および訪問看護ステーション兼務)

理学療法士 2名(常勤・兼務)

作業療法士 1名(常勤・兼務)

※業務の状況に応じて、職員数は増減します

医師の指示及びリハビリテーション実施計画書に基づき、利用者の心身機能の回復を図るために必要なリハビリテーションを実施、指導を行います。

(営業日及び営業時間)

第5条 事業所の営業日及び営業時間は次の通りとします。

営業日:月曜日から金曜日までとします。但し、12月30日～1月3日迄を除きます。

営業時間:午前8時30分～午後5時30分迄

(指定訪問リハビリテーションの内容)

第6条 指定訪問リハビリテーションの内容は次の通りです。

1. 指定訪問リハビリテーションは、利用者に対する心身の機能の回復を図るため、事業所医師による指示又は主治医意見書による指示に基づき、リハビリテーションの目標と具体的なサービスの内容を記載した訪問リハビリテーション実施計画書を作成するとともに、計画書の主要な事項について利用者又は家族に説明し、適切なリハビリテーションを提供します。
2. 従業者は月末に訪問リハビリテーション報告書を作成し、訪問日、提供したリハビリテーション内容などを記載し、事業所医師、主治医、ケアマネジャーに渡します。

(通常の事業の実施地域)

第7条 通常の実施区域は以下の通りとします。

玉名市、熊本市、玉名郡玉東町の区域。

(利用料その他の費用の額)

- 第8条
1. 訪問リハビリテーションを提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとします。
 2. 第9条に規定した通常の実施地域以外で行う訪問リハビリテーション事業に要した交通費は以下の額を徴収します。
交通費は一回につき 100円。

※訪問リハビリを開始するにあたり、あらかじめ利用者又その家族に対し、当該サービス内容及び費用について説明を行い利用者の同意を得ます。

(虐待の防止のための措置に関する事項)

- 第9条
1. 虐待の防止のための対策を検討する委員会(テレビ電話装置の利用可能)を定期的に開催するとともに、その結果について、従業員に十分周知します。
 2. 虐待防止の為に指針を整備します。
 3. 従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的実施します。
 4. 1～3に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置きます。

(業務継続計画の策定等)

- 第10条
1. 事業所は、感染症や非常災害の発生時において、利用者に対するサービス提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画(以下「業務継続計画」という)を策定し、当該事業計画に従い必要な措置を講じます。
 2. 事業所は、従業者に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的実施します。
 3. 事業所は、定期的に業務計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行うものとします。

(衛生管理)

第 11 条 事業所において感染症が発生し、または蔓延しないように、以下の措置を講じます。

1. 事業所における感染症の予防及び蔓延防止のための対策を検討する委員会を概ね 6 ヶ月に 1 回以上開催するとともに、その結果について従業者に周知徹底を図ります。
2. 事業所における感染症の予防及び蔓延の防止のための指針を整備します。
3. 事業所において、従業者に対し、感染症の予防及び蔓延防止の為の研修及び訓練を定期的実施します。

(苦情処理)

第 12 条 事業所は、提供した指定訪問リハビリテーション等に対する利用者又はその家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するための窓口を設置し、以下の措置を講じます。

1. 苦情を受けた場合には、当該苦情の内容を記録します。
2. 介護保険法の規定により、市町村や国民健康保険団体連合会が行う調査に協力するとともに、市町村等から指導又は助言を受けた場合は、それに従って適切な改善を行います。
3. 事業所は、市町村等からの改善報告の求めがあった場合は、改善内容を報告します。

(その他運営に関する留意事項)

第 13 条 1. 事業所は、社会的使命を充分認識し、従業者の質的向上を図るため、研修の機会を設け業務体制を整備します。

2. 従事者は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密は保持します。退職後も同様とします。個人情報保護法については、医療法人財団聖十時会聖ヶ塔病院の規定に準ずるものとします。

3. 事業所は、指定訪問リハビリテーションに関する諸記録を整備し、その完結の日から 5 年間保存します。

4. この規定に定める事項の他、運営に関する重要事項は、医療法人財団聖十時会と事業所との協議に基づいて定めるものとします。

附則

この規定は、平成27年4月1日から施行します。

令和 7 年 3 月 1 日 一部改正 追加) 9 条 虐待防止のための措置に関する事項

10 条 業務継続計画の策定等

11 条 衛生管理

12 条 苦情処理